

就労準備発

就労準備支援事業では、様々な企業や個人、福祉事業所等にご協力いただき、就労に関する見学や体験、ボランティア活動をさせていただいています。

参加者からは、実際に見たり体験することで、「仕事の内容を深く知ることができ、自己の適性を知る機会にもなった」「参加してよかった」との感想が多くあがっています。

みらいラボ見学

就労継続支援 B 型事業所での作業体験

古着の埃とり

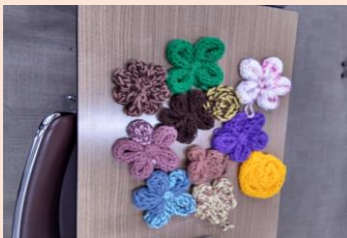


社協ボランティア

袋詰め



アクリルたわし作り



猫の森

保護猫支援団体「猫の森」で、清掃作業のボランティア活動をしました。



〈清掃作業を見守る猫〉

農業体験

芳蔵園さんで収穫体験等をさせていただきました。



ぶどうのツルの剪定作業

編集後記

通勤途中、ベランダやお庭に家庭菜園をみかけます。物価高騰が続くなか、節約のために私も野菜作りにチャレンジしました。ゴーヤのツルが勢いよく伸び、ネットに誘因しトンネル状になるとグリーンカーテンにもなり見た目にも涼やかです。ゴーヤは同じ株に雄花と雌花がつき、自然に虫が交配して受粉・結実します。今はたくさんの実がついています。

少し苦味のあるゴーヤで苦手な方も多い食材ですが、私のおすすめレシピはしょうゆと砂糖で炒め煮した「ゴーヤの佃煮」です。



〔編集・発行〕 船橋市「保健と福祉の総合相談窓口さーくる」

(船橋市委託事業 社会福祉法人生活クラブ)

所在地：船橋市湊町2-8-11 市役所別館1階

TEL：047-495-7111 FAX：047-435-7100

E-mail：circle@kazenomura.jp

ホームページ：<https://funabashi-circle.jp>



さーくるHP QRコード

令和6年度
1号

広報さーくる



主な内容

- ・多様な働き方
- ・重層的支援体制整備事業の取り組み
- ・ふなら〜ん
- ・農業特集
- ・就労準備発

ほか

多様な働き方 ～ダイバーシティ就労モデル事業 in 千葉～

「働きたいのに、働けない…」

日本にいる生きづらさや働きづらさを抱える方々は約1,500万人を超えると想定されます。すでに働いている方、重複した要因にわたる方もいるとされ、その実数は約600万人と推定されます。



様々な事情の一例

ひきこもり、ニート、貧困母子世帯、刑余者、若年認知症、難病患者、ホームレス、ネットカフェ難民、HIV陽性者、AIDS患者、薬物経験者、LGBTなど

(日本財団「WORK! DIVERSITY プロジェクト」サイトより)

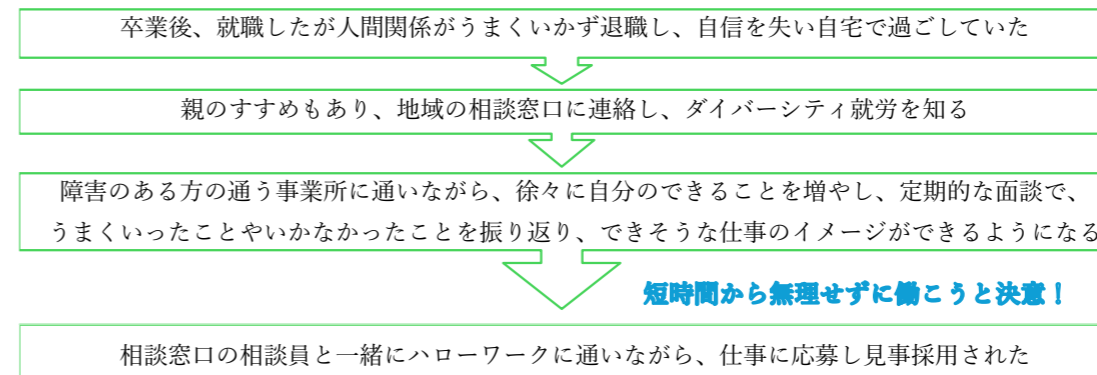
ダイバーシティ就労モデル事業は、そういった事情のある方を対象に仕事に向けた訓練を行ったり、一般就労に向けて障害福祉サービスの就労支援事業所に通いながら実際に働いてみたりする事業です。

本来、障害のある方しか利用できない訓練事業所ですが、この事業では障害のない方を対象にモデル事業として訓練事業所を利用していただいております。日本財団と千葉県からの助成金・補助金をもとに、千葉県全域を対象に「ユニバーサル就労ネットワークちば」というNPO団体が運営しています。

【障害福祉サービス事業所の支援内容（一例）】

就労移行支援事業所	作業や座学、資格取得、企業見学、職場体験などを通して就職活動へのサポート
就労継続支援 A 型事業所	雇用契約を結び、一般就労に近い形でトレーニングを実施
就労継続支援 B 型事業所	雇用契約は結ばず、自分のペースで短時間から始められる働き方を支援

【利用者の事例紹介】



【支援実績 (R4年9月～R6年3月)】

相談者数	263件
利用者数	82名
終了者数	62名
就職者数	12名



【今後に向けて】

この事業も3年目に入り、働きづらさを抱える方の雇用を積極的に検討して下さる企業の方々ともたくさんつながってきています。その一方、試験的な取り組みであり、今年度にて終了予定です。この取り組みは地域の相談支援機関からは制度の利用が難しい方のステップとして有効との声をいただいております。モデル事業後も何かしら形に残せないか、行政の方々などと模索をしている最中です。

重層的支援体制整備事業の取り組み

近年の社会情勢として、少子高齢化や核家族化が進む中で、地域住民同士のつながりの希薄化がより一層問題となっています。その中でも8050問題、ダブルケア、ヤングケアラーといった地域住民の複雑化した課題が増えてきております。その課題やニーズに制度の壁を越えて対応する為に重層的支援体制整備事業が創設されました。船橋市では、令和5年4月より開始しました。既存の相談窓口で世代や属性を問わず相談を受け止め、相談窓口同士の連携を深め、課題解決に努めていきます。各関係機関の対応だけでは難しいケースに関しては、関係機関などが集まって支援方針の検討を行う会議を開催しています。その他にも、ひきこもっている方や長い距離の移動が難しい方には、ご自宅への訪問や近隣の公民館などの公共施設に伺って相談をしています。参加支援事業を活用し、地域における交流や相談者が活躍する場も作りました。

今年度も色々な機関や部署同士がつながるきっかけを作り、地域のつながりや何ができるかといった検討も地域の皆様と実施できればと思っております。

重層的支援会議の一例



自主夜間中学「ふなら〜ん」～自由な学びの場～

「ふなら〜ん」は年齢も国籍も科目も問わない自由な学びの場です。今回通われている方にインタビューを行いました。

〈通いつけて1年経つ中学生のAさんと担当の島田先生へのインタビュー〉

(質問) 毎週通っているんですか？気分転換になってますか？

Aさん：毎週通ってます。修学旅行以外。気分転換になって楽しいです。島田先生の話が面白いです。先生は勉強以外の話をしてくれます。最近だと麻雀の話をしてくれました。

(質問) Aさんと良い関係性のようですね？

島田先生：Aさんからしたら「おじいちゃん」みたいに思われているのかな？

Aさんが帰り道で自転車のチェーンが外れているのを見かけて直したこともあります。賭け事は良くないけど、麻雀は人生勉強にもなると思います。学校で学ぶことができないことも伝えたいです。

〈仕事と子育てをしながら資格試験勉強中のBさんと担当の今井先生へのインタビュー〉

(質問) ふなら〜んではどのようなことを学んでいますか？大変ではないですか？今後の目標を教えてください。

Bさん：今井先生の支えもあり、手話通訳士1級を取ることができました。今はステップアップを目指し、より難易度の高い手話通訳者の資格試験に向けて、仕事と子育ての隙間に勉強しています。子供が夏休みに入ると、普段より楽になります。一人だったら大変ですが、今井先生の支えがあるので頑張れます。子供のことを考えて、自分が大学に進学することを諦めましたが、手話通訳士1級を取り自信ができました。今勉強している手話通訳者の資格を取るためには「大学に行かないといけない」と思っている方がたくさんいると思いますが、私が資格を取ることで「大学に行かないととれない資格ではない」事を示したいです。

(質問) 今井先生はどのような経緯で「ふなら〜ん」の講師をされているのでしょうか？

今井先生：一般企業を定年退職してから塾講師をして今に至ります。手話は専門外ですが、私が読んでも手話通訳者の過去問の問題文は難しいです。Bさんと一緒に考えて問題を解くことで、私も勉強になっています。

「ふなら〜ん」は毎週木曜日19時～21時、浜町公民館で開催しています。参加費は無料です。外国籍の方には日本語も教えており、さーくるのご相談者を「ふなら〜ん」に案内をしたことがあります。今後も連携を図って支援に取り組んでいきます。

左から島田先生、木村校長先生



「ふなら〜ん」にある本や教材



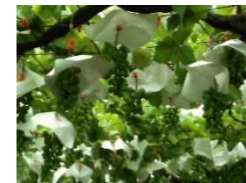
農業特集

農業体験

4月に市内にある農園のご協力をいただいてネギの収穫作業を体験させていただきました。ネギを抜くだけでなく皮をむいて袋につめて出荷できる状態にする一連の作業を相談者の皆さんで手分けして行うことができました。普段なかなかできないことなので貴重な体験でした。

芳蔵園

船橋市は有数の梨の産地です。その中でも地域の活性化、将来を見据えつつ、梨や葡萄を代々作っていらっしゃる芳蔵園さんと、農業のお手伝いをさせていただきました。芳蔵園さんは、出荷最盛期はもとより、それ以外の時にも、新鮮なフルーツサンド等を販売、カフェも併設しているので、いつも多くの人や車で賑わっています。オーナーさんは梨や葡萄の出荷販売に留まらず、それらを通して、地域の活性化や観光促進を図ることを目指しています。



お伺いした時は、梨にはすでにひとつずつ、袋がかけられていました。私たちは、巨峰やシャインマスカットの伸びすぎたツルを剪定しました。実に栄養がいなくなるため、6節位残して、剪定すること。そのツルを思いっきり引っ張ると、棚から青い空がのぞき、心地よい風が吹いてきます。まだ小さく固い実が、やがて大きくなり、紫や緑色になっていくと想像すると、わくわくしてきました。蚊に刺されることに気をとられ、間違っって高価な実を剪定しないよう、緊張もしましたが・・・。

農家さんの仕事は、時期により多数あるとのこと、今後もこのような体験を通して、色々な仕事について知りながら地域貢献もしていきたいと思っています。

さーくる農園

今年度、地域の方より農園をお借りし交流の場として「さーくる農園」を始めました。相談者の居場所として相談者の方々と一緒に体を動かしながら作業を行っています。畑を耕して土作りをするところから始まり、苗の植え付けや定期的なお世話まで、相談者にも関わってもらっています。この活動は、必ずしも就労に結び付くことが第一の目的ではなく、他の相談者とのコミュニケーションを通して自分を表現したり、植え付けから収穫を通して「自分でもできるんだ」と思える自己肯定感を育むキッカケになればという願いがあります。

春に植えたジャガイモは無事収穫できました。ゴールデンウィーク明けに植え付けたナスとミニトマトは順調に成長して7月初旬には初収穫を迎えました。8月も夏野菜のお世話をしながら、秋、冬に向けて冬野菜の準備に取りかかります。

今まで働いたことがなくて外部と関わる機会を作れていなかった相談者の方や働く前にリハビリとして体を動かしたいという方と一緒に畑作業に取り組むことは、普段面談室で行う面談とは違って、戸外で活動しながらリラックスした表情でお話しを伺うことができるので、それがこの活動の醍醐味になっています。

これからも相談者の居場所として活動を続けていきます。写真は、無農薬で作ったナスとミニトマトです！



ネギの収穫体験

